

第7回 構造材料研究拠点シンポジウム

1. 趣旨

2019年度は、NIMS 中長期計画7年間の中間年にあたることやSIPなどの主要プロジェクトが前年度までに終了していることから、直近3年間程度の研究成果報告の場とする。また、産学官連携のさらなる強化を図るため、産業界との意見交流の機会とする。

2. 日時 2019年8月30日(金) 10:00-19:00

3. 場所 (国)物質・材料研究機構 千現地区 第1会議室：講演、パネル討論
講堂：技術交流会(ポスターセッション)

4. プログラム

- 10:00 開会挨拶：橋本理事長
プロジェクト成果・方針報告(司会：片山)
- 10:10-10:30 界面制御による構造材料・構造体の高信頼性化(運営費交付金PJ)：大村孝仁
- 10:30-10:50 グリーンプロセスを用いた高性能構造材料の創製(運営費交付金PJ)：御手洗容子
- 10:50-11:10 インフラ構造物長寿命化のための材料技術の開発
(SIP インフラ維持管理・更新・マネジメント技術)：土谷浩一
- 11:10-11:30 革新的プロセスを用いた航空機エンジン用耐熱材料創製技術開発
(SIP 革新的構造材料)：御手洗容子
- 11:30-13:00 昼食休憩
- 13:00-13:20 粒界力学エフィシェンシーに基づく材料設計(鉄鋼MOP)：大村孝仁
- 13:20-13:40 統合型材料開発システムによるマテリアル革命(SIP第2期)：渡邊誠
Topicの紹介(司会：澤田)
- 13:40-14:00 結晶粒界制御による革新的マグネシウム合金の創製：染川英俊
- 14:00-14:20 高速でき裂を完治する自己治癒セラミックスの開発：長田俊郎
- 14:20-14:40 超高温セラミックス複合材料高温強度の向上：郭樹啓
- 14:40-15:00 大型部品用新規高強度TiAl合金：鉄井利光
- 15:00-15:30 休憩
- 15:30-16:30 パネル討論(司会：大村) テーマ：NIMSにおける産官連携のありかた・今後の展開
井上謙一氏(日立金属)、島裕氏((一財)日本経済研究所)、庄司哲也氏(トヨタ自動車)、
高橋学氏(日本製鉄)、中村武志氏(IHI)、信田佳延氏(土木学会)、木村拠点長
- 16:30 挨拶：木村拠点長
- 17:00-19:00 技術交流会(ポスターセッション)

5. 参加登録

「第7回 構造材料研究拠点シンポジウム参加希望」と題記し、氏名、勤務先、連絡先(電話番号、E-mail)、技術交流会(ポスターセッション)参加の有無を明記の上、e-mailにて rcsm_sympo7@ml.nims.go.jp までお申し込みください。参加申込みの際にお届けいただいた個人情報、当拠点からの諸連絡等の事業のみに使用させていただきます。

締め切り：令和元年8月9日(金曜日)

定員120名(定員に達し次第、参加申し込みを終了します)

参加費：無料(ただし、技術交流会(ポスターセッション)参加者は軽食代1,000円を当日いただきます。

当日、受付に現金にてお支払ください)